多施設共同コホート研究「間質性肺疾患に対する抗線維化薬治療実態と臨床経過の調査－前向き観察研究－」への参加に同意し、臨床データを使用させていただいた方へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2026 年　9 月 29 日

① 対象者	2020 年～2023 年に既に承認・実施された多施設共同コホート研究「間質性肺疾患に対する抗線維化薬治療実態と臨床経過の調査－前向き観察研究－」への参加に同意し、臨床データを使用させていただいた方			
② 研究課題名	抗線維化薬治療下に進行性線維化を呈する間質性肺疾患の臨床的特徴および予後の検討			
③ 実施予定期間	臨床研究審査委員会承認日～2031 年 7 月			
④ 実施機関	藤枝市立総合病院			
⑤ 研究代表者	氏名	橋本大	所属	聖隷浜松病院　呼吸器内科
⑥ 当院の研究代表者	氏名	小清水直樹	所属	呼吸器内科
⑦ 使用する検体・データ	多施設共同コホート研究「間質性肺疾患に対する抗線維化薬治療実態と臨床経過の調査－前向き観察研究－※」のデータ			
⑧ 目的	特発性肺線維症（IPF）は、肺に線維化（肺が硬くなる変化）が起こり、徐々に呼吸する力が低下していく病気です。近年、ピルフェニドンやニンテダニブという薬が使用されるようになり、病気の進行を遅らせる効果が報告されています。[1)] また、特発性肺線維症以外の間質性肺疾患（肺に炎症や線維化が起こる病気）の中にも、肺の線維化が徐々に進行する場合があり、これを進行性肺線維症（PPF）と呼びます。[2)]進行性肺線維症に対しても、ニンテダニブには病気の進行を遅らせる効果があることが報告されています。[3)] しかし、これらの薬による治療を行っていても、肺の線維化や呼吸する力の低下が進んでしまう患者さんがいます。このような患者さんにどのような特徴があるのか、また、その後どのような経過をたどるのかについては、まだ十分に分かっていません。 そこで本研究では、特発性肺線維症または進行性肺線維症と診断され、ピルフェニドンまたはニンテダニブによる治療を受けた患者さんの診療情報を調べ、治療中にも病気が進行した患者さんの特徴やその後の経過を明らかにすることを目的としています。 [参考文献] 1)　Hozumi H, et al. Respir Res. 2024 2)　Raghu G, et al. Am J Respir Crit Care Med. 2022 3)　Flaherty KR, et al. N Engl J Med. 2019			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

院長

多施設共同コホート研究「間質性肺疾患に対する抗線維化薬治療実態と臨床経過の調査－前向き観察研究－」への参加に同意し、臨床データを使用させていただいた方へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

⑨ 方法	本研究では、過去に実施された、肺の線維化（肺が硬くなる変化）がみられる間質性肺疾患の患者さんを対象とした研究（Suzuki Y, et al. ERJ Open Res. 2026）で収集された診療情報を利用します。この研究では、ピルフェニドンやニンテダニブによる治療を開始した患者さんを対象に、健康状態や生活の質（QOL）などについて調査しました。 今回の研究では、すでに収集されている診療情報のうち、年齢、性別、喫煙歴、間質性肺疾患の種類、他にかかっている病気、血液検査、呼吸機能検査、治療内容、病気の経過などの情報を利用します。血液検査には、肺の炎症や障害の程度などを調べる検査（LDH、KL-6、SP-D、CRP など）が含まれます。また、過去に撮影された胸部 CT 画像を改めて確認し、肺の線維化などの画像所見について調べます。 ピルフェニドンまたはニンテダニブによる治療を開始してから 1 年間の経過をもとに、肺の線維化が進行した患者さんと、進行しなかった患者さんに分けます。そして、年齢や性別などの患者さんの特徴、検査結果、治療内容、胸部 CT 画像の特徴などにどのような違いがあるかを調べます。 さらに、治療開始から 1 年が経過した後について、亡くなられた患者さんの割合や、間質性肺疾患が急に悪化した患者さんの割合などを比較し、治療を行っていても肺の線維化が進行する患者さんの特徴や、その後の経過について検討します。							
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2026 年 9 月 29 日						
	病院長承認日	2026 年 9 月 29 日						
⑪ 公表	被験者を特定できないようにしたうえで学会や学術雑誌に公表します。							
⑫ プライバシー	研究の結果を公表する際には、研究対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、本研究で得た個人情報を使用しません。							
⑬ 知的財産権	当院に帰属しません。							
⑭ 利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。							
⑮ 問い合わせ	連絡先	呼吸器内科外来	電話	054-6464-1111（代表）				
	実施責任者：小清水直樹 実施分担者：松浦駿、秋山訓通、田中和樹、大石享平、中村隆一、山田耕太郎、山本雄也、藤田大河、松下翔磨 上記連絡先にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 ※情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします（連絡締切日：2030 年 7 月 31 日）。							

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

院長